



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 シークス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7613 URL <https://www.siix.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳瀬 晃治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経理部長 (氏名) 大野 精二 (TEL) 06-6266-6415
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	150,612	20.0	5,711	65.2	5,855	60.9	3,941	149.5
2022年12月期第2四半期	125,467	14.6	3,457	36.0	3,639	24.8	1,579	△35.6

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 10,557百万円(△16.0%) 2022年12月期第2四半期 12,565百万円(83.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	83.43	83.34
2022年12月期第2四半期	33.41	33.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	220,320	87,114	39.3
2022年12月期	205,170	77,389	37.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 86,602百万円 2022年12月期 76,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2023年12月期	—	16.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	8.3	11,300	26.5	10,200	22.3	7,700	62.7	162.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 2社(社名) SIIX Logistics Phils., Inc.
 SIIX COXON PRECISION PHILS., INC.

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	50,400,000株	2022年12月期	50,400,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	3,326,103株	2022年12月期	3,097,775株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	47,240,013株	2022年12月期2Q	47,276,532株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、米国では、個人消費は堅調に推移しているものの、高インフレ・政策金利上昇による下押しの圧力により、景気は減速傾向にあります。欧州では、ウクライナ情勢を受けた資源価格の高騰や物価上昇が長期化していることにより、個人消費・企業の経済活動へ下押しの圧力が強まっており、景気は低迷しております。アジアにおいて、中国では、ゼロコロナ政策の解除により、内需・サービスが回復傾向にあるものの、輸出の低迷や企業活動の鈍化などにより景気は減速傾向にあります。その他のアジア各国では、活動制限が解除されたことにより内需の景気回復が持続している国もありますが、インフレの長期化・輸出不振等で景気後退に入る国もあり、先行き不透明な状況となっております。日本では、新型コロナの感染症法上の位置づけが5類へ引き下げられたことから、個人消費の拡大やインバウンド需要の回復が景気を後押ししております。

当社グループが関連するエレクトロニクス市場は、長期化していた電子部品の供給不足がやや緩和傾向にあるものの、半導体関連投資の減速などによりやや弱含みで推移しております。しかし、中長期的にはCASEやIoTといった技術革新の進行とともに、気候変動対策および脱炭素対策としての自動車や産業機器の電動化ニーズがさらに拡大していく市場であると認識しております。こうした状況下、当社グループでは、日系・非日系を問わず大手グローバル企業との取引拡大を目指しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高は1,506億1千2百万円と前年同期に比べて251億4千5百万円の増加(20.0%増)となりました。利益面では、営業利益は57億1千1百万円と前年同期に比べて22億5千3百万円の増加(65.2%増)となり、経常利益は58億5千5百万円と前年同期に比べて22億1千5百万円の増加(60.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は39億4千1百万円と前年同期に比べて23億6千1百万円の増加(149.5%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における業績の分析等については、セグメント別の業績および要因に記載しております。

セグメント別の業績および要因は次のとおりであります。本文中の「セグメント利益」および「セグメント損失」は、四半期連結損益計算書の営業利益を基礎としております。

(日本)

産業機器用部材および車載関連機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は545億5千2百万円と前年同期に比べて102億3千4百万円の増加(23.1%増)となりました。

利益面では、売上高の増加にともない、セグメント利益は5億4千9百万円と前年同期に比べて3億1千8百万円の増加(138.4%増)となりました。

(中華圏)

家電機器用部材および産業機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は449億1千4百万円と前年同期に比べて34億4千6百万円の増加(8.3%増)となりました。

利益面では、車載関連機器用部材の減産により、セグメント利益は3億2千7百万円と前年同期に比べて3億9千5百万円の減少(54.7%減)となりました。

(東南アジア)

家電機器用部材および車載関連機器用部材の出荷が増加したこと等に加えて、主に米国ドルに対する円安の影響もあり、当セグメントの売上高は593億8千5百万円と前年同期に比べて87億9千6百万円の増加(17.4%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、セグメント利益は28億8千5百万円と前年同期に比べて6億2千8百万円の増加(27.9%増)となりました。

(欧州)

車載関連機器用部材および産業機器用部材の出荷が増加したこと等により、当セグメントの売上高は108億1千8百万円と前年同期に比べて19億1千8百万円の増加(21.6%増)となりました。

利益面では、半導体や電子部品のサプライチェーンの混乱による生産効率の低下やウクライナ侵攻による資源価格等の高騰が長期化していること等もあり、1億4千7百万円のセグメント損失(前年同期は8千1百万円のセグメント損失)となりました。

(米州)

車載関連機器用部材および産業機器用部材の出荷が増加したこと等に加えて、主に米国ドルに対する円安の影響もあり、売上高は365億2千6百万円と前年同期に比べて85億3千4百万円の増加(30.5%増)となりました。

利益面では、売上高が増加したこと等により、セグメント利益は19億2千3百万円と前年同期に比べて13億4千6百万円の増加(233.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて151億4千9百万円増加(7.4%増)し、2,203億2千万円となりました。

流動資産は、現金及び預金3億5百万円の減少(2.2%減)、棚卸資産19億1千3百万円の増加(2.6%増)および受取手形、売掛金及び契約資産95億8千6百万円の増加(17.4%増)等により、前連結会計年度末に比べて107億8千8百万円増加(7.2%増)し、1,610億6千4百万円となりました。

固定資産は、各海外生産拠点での設備投資にともなう機械装置の増加もあり、有形固定資産39億2千8百万円の増加(8.7%増)等により、前連結会計年度末に比べて43億6千1百万円増加(7.9%増)し、592億5千5百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて54億2千4百万円増加(4.2%増)し、1,332億5百万円となりました。

流動負債は、買掛金22億4千9百万円の増加(5.4%増)、短期借入金8億1千8百万円の減少(2.3%減)等により、前連結会計年度末に比べて11億4千万円増加(1.2%増)し、977億3千8百万円となりました。

固定負債は、長期借入金41億6千5百万円の増加(27.5%増)等により、前連結会計年度末に比べて42億8千4百万円増加(13.7%増)し、354億6千6百万円となりました。

(純資産)

純資産は、為替レートの変動にともなう為替換算調整勘定67億1千4百万円の増加(47.0%増)および利益剰余金33億9千1百万円の増加(5.6%増)等により、前連結会計年度末に比べて97億2千4百万円増加(12.6%増)し、871億1千4百万円となりました。

この結果、自己資本比率は37.5%から39.3%に増加いたしました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて3億1千8百万円減少(2.3%減)し、当第2四半期連結累計期間末における資金は133億3千4百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、52億1千万円(前第2四半期連結累計期間は34億3千5百万円の減少)となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の増加額65億2千4百万円および法人税等の支払額16億1千9百万円の資金減少要因に対し、税金等調整前当期純利益58億5千8百万円、減価償却費42億5千8百万円および棚卸資産の減少額30億3百万円の資金増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、58億5百万円(前第2四半期連結累計期間は40億7千3百万円の減少)となりました。これは主に、各海外生産拠点において行われた設備投資にともなう有形固定資産の取得による支出57億8千2百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、8億8千7百万円(前第2四半期連結累計期間は57億6千8百万円の増加)となりました。これは主に長期借入れによる収入52億6千5百万円の資金増加要因に対し、長期借入金の返済による支出29億7千2百万円、短期借入金の純減少額17億3千9百万円および配当金の支払額7億5千6百万円の資金減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表した2023年12月期連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したSIIX MALAYSIA SDN. BHD. を連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間より、SIIX Logistics Phils., Inc. およびSIIX COXON PRECISION PHILS., INC. は、2023年1月1日付でSIIX EMS PHILIPPINES, INC. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,793	13,488
受取手形、売掛金及び契約資産	55,091	64,677
商品及び製品	27,738	26,601
仕掛品	2,264	2,876
原材料及び貯蔵品	43,425	45,862
その他	8,027	7,624
貸倒引当金	△64	△67
流動資産合計	150,275	161,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,513	21,175
機械装置及び運搬具（純額）	15,739	17,678
土地	4,644	4,874
その他（純額）	6,460	5,557
有形固定資産合計	45,358	49,286
無形固定資産	2,520	2,473
投資その他の資産		
投資有価証券	2,227	2,208
出資金	1,015	1,272
その他	3,876	4,107
貸倒引当金	△103	△92
投資その他の資産合計	7,015	7,496
固定資産合計	54,894	59,255
資産合計	205,170	220,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,733	43,982
短期借入金	36,136	35,318
未払法人税等	2,065	2,229
その他	16,662	16,207
流動負債合計	96,598	97,738
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,125	19,290
退職給付に係る負債	642	730
その他	5,414	5,445
固定負債合計	31,182	35,466
負債合計	127,780	133,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,594	5,581
利益剰余金	60,389	63,781
自己株式	△5,866	△6,186
株主資本合計	62,261	65,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	347	267
為替換算調整勘定	14,276	20,990
退職給付に係る調整累計額	6	23
その他の包括利益累計額合計	14,630	21,282
新株予約権	67	58
非支配株主持分	430	453
純資産合計	77,389	87,114
負債純資産合計	205,170	220,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	125,467	150,612
売上原価	113,882	136,061
売上総利益	11,584	14,551
販売費及び一般管理費	8,126	8,840
営業利益	3,457	5,711
営業外収益		
受取利息	7	94
受取配当金	6	116
持分法による投資利益	98	11
為替差益	100	61
補助金収入	96	74
物品売却収入	139	153
スクラップ売却益	110	86
その他	141	283
営業外収益合計	701	880
営業外費用		
支払利息	287	591
物品購入費用	93	56
その他	138	88
営業外費用合計	519	736
経常利益	3,639	5,855
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
新型コロナウイルス感染症関連損失	367	—
特別損失合計	367	—
税金等調整前四半期純利益	3,272	5,858
法人税、住民税及び事業税	1,253	1,947
法人税等調整額	454	△31
法人税等合計	1,707	1,915
四半期純利益	1,564	3,942
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,579	3,941

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,564	3,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△286	△79
為替換算調整勘定	11,126	6,577
退職給付に係る調整額	24	20
持分法適用会社に対する持分相当額	136	95
その他の包括利益合計	11,001	6,614
四半期包括利益	12,565	10,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,529	10,534
非支配株主に係る四半期包括利益	36	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,272	5,858
減価償却費	3,650	4,258
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	1
受取利息及び受取配当金	△13	△210
支払利息	287	591
為替差損益(△は益)	△1,065	△410
持分法による投資損益(△は益)	△98	△11
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△756	△6,524
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,502	3,003
未収消費税等の増減額(△は増加)	339	385
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,301	181
契約負債の増減額(△は減少)	1,223	694
その他	68	△605
小計	△1,897	7,211
利息及び配当金の受取額	12	200
利息の支払額	△257	△581
法人税等の支払額	△1,291	△1,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,435	5,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,914	△5,782
有形固定資産の売却による収入	1	86
無形固定資産の取得による支出	△219	△229
貸付けによる支出	△19	△20
貸付金の回収による収入	17	32
出資金の回収による収入	47	—
補助金の受取額	14	111
その他	0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,073	△5,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,682	△1,739
長期借入れによる収入	7,035	5,265
長期借入金の返済による支出	△1,913	△2,972
自己株式の取得による支出	—	△361
配当金の支払額	△707	△756
その他	△329	△322
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,768	△887
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,318	1,056
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△421	△426
現金及び現金同等物の期首残高	9,315	13,652
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	108
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,894	13,334

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

当第2四半期連結累計期間において、第31期有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

なお、当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時点において入手可能な外部情報等を踏まえて慎重に見積りを行っておりますが、当該感染症の収束時期は現時点で予測不能であり、実際の結果は上記の見積りと異なる場合があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	22,792	31,669	40,132	8,261	22,543	125,399	67	125,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,524	9,798	10,455	637	5,448	47,865	△47,865	—
計	44,317	41,467	50,588	8,899	27,991	173,264	△47,797	125,467
セグメント利益 又は損失(△)	230	722	2,257	△81	577	3,705	△247	3,457

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額67百万円は、全社(共通)の区分の売上であります。
- (2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△47,865百万円は、セグメント間取引消去等であります。
- (3) セグメント利益又は損失(△)の調整額△247百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中華圏	東南 アジア	欧州	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	31,565	34,874	45,033	10,145	28,741	150,359	253	150,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,987	10,039	14,352	672	7,785	55,837	△55,837	—
計	54,552	44,914	59,385	10,818	36,526	206,196	△55,584	150,612
セグメント利益 又は損失(△)	549	327	2,885	△147	1,923	5,538	173	5,711

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額253百万円は、全社(共通)の区分の売上であります。
- (2) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△55,837百万円は、セグメント間取引消去等であります。
- (3) セグメント利益又は損失(△)の調整額173百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。